

学校給食における異物混入について

斐川学校給食センターが提供した学校給食の中に、異物が混入しておりました。本件事案については、発生時に議員の皆様にご報告させていただいておりますが、改めて事故後の対応等を含め、下記のとおり報告し、お詫びいたします。

記

1 発生日時・場所

令和6年(2024)5月8日(水)の給食時(12時54分頃) ・ 斐川西中学校 3年3組

2 発生時の状況

斐川西中学校3年3組に配食された給食副菜「おかかあえ」に、金属異物1個(長さ:約9cm、太さ:約0.1cm)が混入していた。

生徒が盛りつけ中に異物を発見し、教員へ報告した。異物が金属であることが確認されたため、12時58分、斐川西中学校から斐川学校給食センターに連絡があった。



3 事故発生後の対応

学校からの報告後、直ちに「おかかあえ」の喫食の中止を指示し、斐川学校給食センターの全ての配食校(小学校7校、中学校3校、幼稚園6園、教育支援センター2施設)に対し、健康被害等の確認を行い、園児、児童及び生徒に健康被害がないことを確認した。

4 「おかかあえ」の使用材料

ほうれん草、りょくとうもやし、にんじん、とうもろこし、花かつお、こいくちしょうゆ

5 混入異物の成分分析結果等

- ・ 専門機関による検査の結果、混入異物はニッケルメッキされたステンレス製の金属片であると推定された。用途は家庭用品、建築用途、自動車部品など多岐にわたり、混入異物はステンレス製品の部品の可能性が挙げられた。
- ・ 調理場内の調理設備・器具及び空調などの周辺設備を点検したが、混入異物と同様の部品の使用及び部品の欠落は確認できなかった。
- ・ 厨房機器納入業者に混入異物と同じ部品が使用されていないか問い合わせたが、同様の部品は使用していないとの回答を受けた。

6 再発防止策

- ・ 食材納入業者が事前に金属探知機を通していない食材は、給食センターにおいて金属探知機に2回以上通す。
- ・ 給食センターでの調理時、釜の底の部分に残った汁は給食食缶には入れずに廃棄し、異物混入リスクを減らす。(金属異物は汁物の底に沈む。)
- ・ 食材の洗浄作業時、シンクに入れて洗う量を少なくし、食材を十分にほぐして、ふり洗い・こすり洗いを徹底して行う。
- ・ 釜から各食缶に配食する前に、食缶の内側、外側、蓋に異物の付着がないかを、複数人で目視確認する。